

名張に残る

戦争の記憶

戦後80年——。名張にも戦争の記憶が残っています。平和があたりまえにあるものではないことを、今一度、考えてみませんか。



桔梗が丘西付近で行われた行軍演習の様子



名張駅で将校を出迎える人々

がまん、がまんの

子ども時代

戦争が始まったのは、私が錦生小学校3年の時でした。学校では勉強なんてほぼできず、運動場を開墾した畑に豆やイモを植えて農作業をする毎日。私は勉強がしかなかったので、夜、外に光が漏れないよう布団の中へ明かりを持ち込んで、兄や姉に教えてもらいました。たくさんの子が疎開してきて教室がいっぱいになったり、職員室に入る時に敬礼して「平岡、用に参りました」と大きな声で言

わないと叱られたりと、だんだん学校も戦争に染まっていたように思います。

姉を失った日

忘れもしない昭和20年7月24日の朝、女学校に通っていた私は、大阪に勤めていた姉と「じゃあね」と言って赤目口駅で別れました。授業中に出た空襲警報が解除されたので防空壕から出ると、今日は半日で学校が終わりだと言われ、電車が動いていなかったで友人と歩いて帰ることに。赤目まで戻ってくると、駅で銃撃があったことを知り合いかから聞かれました。手の取れなかった人や頭を撃たれて血まみれの人が、助けてと泣いていたというのです。私は恐ろしくて駅には行けませんでした。遺体は赤目小学校の講堂に安置されたそうです。



もっと早く戦争が終わっていたら姉は生きていた 平岡 美智子さん (93)

トンネル内に退避していた姉の乗った列車も、空襲警報が解除になったので動き出しました。榛原駅に到着した時、赤目口駅を襲った飛行機が舞い戻ってきて機銃掃射を浴びせたそうです。運転席の近くに座っていた姉は、銃弾が心臓を貫通して即死。私たち家族には「怪我をしたからお寺にいる」と連絡があり、両親に代わって親戚が迎えに行つて、初めて亡くなったのだと聞かされました。朝元気に別れた姉が、2時間も経たないうちに死んだと聞いても、信じられなくて。

両親もショックを受けて何も言えず、ただボーっとしていました。姉の最期の様子は、運よく生き延びた列車の運転手さんが、お葬式に参列してくれた時に教えてくれました。

それから3週間後の8月15日に戦争が終わりました。終戦の知らせを聞いて、「もっと早く終わっていたら姉は死ななかったのに」と思うと本当に悔しくて悔しくて。もう戦争は絶対にしてはいけなくと強く思いました。

戦争を忘れない

悲しくつらい戦争をしてきた時代があったことを忘れてはいけなくと、小学校や地域のサロンで子どもたちに私の戦争体験をお話しました。今、平和な世の中になったのは、過去に辛い思いをした人がいたから。勉強できることに感謝してしっかり学んで、困難を乗り越えていってほしいと伝えました。子どもも大人もみんな楽しく暮らせる、平和な世の中がずっと続いていくことを願っています。

蔵持小学校に機銃掃射

昭和20年6月9日午後

米軍機が蔵持国民学校（現蔵持小学校）などに機銃掃射。死者は出なかったが、校舎や講堂は銃撃に遭い、講堂にあったピアノにも銃弾が貫通した。



空襲の標的にならないよう黒塗りされた蔵持小学校

昭和20年7月24日9:00過ぎ

赤目口駅空襲

米軍グラマン3機が赤目口駅上空に飛来し、機銃掃射を浴びせた。駅は一瞬で血の海になり、約50人の尊い命が奪われた。ホームには今も銃痕が残っている。



赤目口駅付近で拾われた弾殻



昭和20年6月13日・15日

下比奈知・新田への焼夷弾空襲

下比奈知と新田に焼夷弾が投下され、民家が全焼。新田では焼夷弾による火災が発生し、民家15戸をはじめ、合計56棟が全焼する被害がでた。

B29が青蓮寺に墜落

昭和20年6月5日8:40頃

映画「火垂るの墓」で描かれた神戸大空襲を終えた米軍爆撃機B29が、日本部隊の攻撃を受けて青蓮寺ノ谷の山中へ墜落。搭乗員のうち2人は墜落時に死亡し、残りの9人は大阪・名古屋へ連行されて終戦前に処刑された。

地蔵院では、毎年地域の戦没者と共にB29搭乗員の供養を行っている。



地蔵院に保管されている、墜落したB29の破片

戦没者遺児

—— 戦争で親を失った子どもたち

私の父は、私が生まれたことを知らない

杉本 栄三 さん (83)

「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」に参加した杉本さん。母から手渡された父の写真を、およそ80年間肌身離さず持っている。



母一人子一人で戦後を生き抜いた

私の父は、新婚生活15日目に陸軍に応召されて、パプアニューギニアのブーゲンビル島へ出兵しました。一人息子が妻のお腹にいることを知らないまま、戦地へ赴いたのです。母は父の生存を信じていましたし、私もまだ見ぬ父が帰ってくるのを待ち望んでおりました。しかし、ついぞ父に会うことは叶いませんでした。昭和19年8月25日、父は遥か遠い地で、米軍の爆撃を受けて戦死したのです。

戦後の混乱の中を、私は

母一人子一人で生き抜いてきました。米軍よりも、戦争を引き起こした人に腹が立ったのを覚えています。

初めて訪れた、父の最期の地

かねてより父が戦死した地への慰問を願っていた私は、平成17年に「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」に初めて参加し、ブーゲンビル島を訪れたのです。

父の最期の地は、とても美しい島でした。私たちは現地の学校へ物品を寄附し、人々と交流した後、戦没者の追悼式を開催。私は父に「あなたのことは決して忘れません」と伝えました。父が戦死した地を訪れたことで、私の中の戦争が一区切りついたような気がします。

日本遺族会によって実施されてきたこの事業は、今年の開催で最後。節目の年だからこそ、皆さんに戦争について考えてもらえたら嬉しいのです。

日本遺族会 HP



戦争や平和を話し合う機会にしてほしい

平和のつどいでは、書物や映像で伝わらない感覚的な部分を伝えるため、毎年必ず戦争体験者の「生の声」を聞く機会を組み込んでいます。

今年は大阪空襲を経験した女性と、戦争を生き延びた象を全国の子どもに見せるために運行された「象列車」に乗車した人をお招きします。

普段は話題にすることが少ない戦争や平和。年に一回、この日だけでも関心を持って見に来て、家庭で話し合うきっかけにしてほしいです。



戦争はいや！平和のつどい
実行委員会 事務局
はぐち
羽口 和彦さん

お願い

日の丸や手紙などの戦時中の物品や写真があれば、展示にご協力ください。



戦争はいや！平和のつどい

「語りつごう平和を、くりかえしてはいけない悲惨な戦争」をテーマに、戦争はいや！平和のつどい実行委員会が平成24年から毎年開催。戦争体験者の話や、戦時中の物品の展示などを行います。

日時 8月17日(日)

【展示】 10:30～16:00

【朗読・コーラス、公立保育所5歳児 歌の発表】 13:00～

【戦争体験者の話、中学生の発表、交流】 14:00～

場所 市役所1階 大会議室 ◎入場無料

☎ 平和のつどい実行委員会(羽口) ☎ 64 - 0302

平和はあたりまえじゃないと気づいて

「蔵持小学校の被弾ピアノを活用できないか」と相談を受けて集まった「ミックスピース」。平和学習などの依頼を受け、市内の中学校で非核平和コンサートを開催。手記の朗読や映像、歌を組み合わせ「名張の戦争」を伝えています。戦後生まれの私たちが戦争を伝えるため、広島などを訪問し、平和について学び直したりもしています。

子どもたちには、平和があたりまえではないことに気づいてもらいたいと思っています。



ミックスピースの皆さん



非核平和コンサート

平成22年から市内中学校で、歌や朗読、映像などで名張にあった戦争を伝えるコンサートが行われてきました。実施しているのは、市民グループ「ミックスピース」の皆さん。箕曲コーラス「La.pesca」、癒し系バンド「ゆりね」、ギターユニット「まつたけ」、音訳ボランティア「たんぽぽ」と映像担当で構成されています。今年は「戦争はいや！平和のつどい」にも初めて出演します。

☎ 箕曲市民センター(福田) ☎ 63 - 0453

映画「明日への遺言」上映会

青蓮寺に墜落したB29搭乗員が運行された「東海軍司令部」で、米軍捕虜の処刑を命令した岡田資中将が、戦後B級戦犯として法廷に望む姿を描く映画を上映。中学生の作文朗読も。◎申込不要、入場無料

日時 8月9日(土) 10:00～12:10

場所 百合が丘市民センター



平和の集い

市YouTube

☎ 青蓮寺 地蔵院(耕野) ☎ 090 - 2261 - 0150

青蓮寺一ノ谷B29墜落現場での追悼や、地蔵院境内での「平和の鐘」の打ち鳴らし、放鳩などを行います。

日時 8月15日(金)

10:30～12:30

※参加希望者は10:15に青蓮寺公民館に集合

戦争を伝える

戦争が終わって長い年月が経ち、戦争を体験した人たちは高齢に……。そんな中で、戦争体験者の声や戦争の悲惨さ、平和の尊さを次の世代へ伝えようと、活動している人たちがいます。

私たちの戦争体験を聞いてもらおう会

桔梗が丘5番町
いきいきサロン

「桔梗が丘5番町いきいきサロン」では、平成19年から、地域の子どもたちを招いて戦争体験を聞いてもらう催しが開かれています。語るのは、戦争を体験した桔梗が丘5番町の住民たち。最初は小学生のみでしたが、より多くの人に参加してほしいという思いで、去年は対象を中学生にも広げました。



民生委員・児童委員の皆さん

現在サロンを運営している桔梗が丘地区の民生委員・児童委員の皆さんは、「学校に相談して子どもが集まりやすい日を設定するなど、多くの人に参加してもらえよう工夫しています。他の地域からの参加も大歓迎ですよ」と話します。今年も秋頃に開催予定！参加したい人は問合先へ。

これまでの体験談は、令和5年発行の本「私たちの戦争体験談」にまとめられています。

☎ 桔梗が丘自治連合協議会 ☎ 65 - 1206

平岡さん(前ページ)の体験談も収録

戦争の記憶を語りつぐ貴重な資料。ぜひ一度読んでみて！

「サロンで語られた貴重な話を未来に残さなければ」と、サロンを始めた江南登美さんと3人で一念発起。しかし、本の作成を進めている時に江南さんが病に倒れ、帰らぬ人に……。『必ず本を完成させる』と決心し、多方面に協力を仰いで完成したのが「私たちの戦争体験談」です。



「私たちの戦争体験談」編集委員
上田 博さん 山口 晴雄さん

戦争体験者が減っていく今、この本は戦争の記憶を次の世代に伝える貴重な資料。今年7月には、名張地区で本を活用した催しが開かれました。今後も地域や学校の平和学習などでぜひ活用してほしいですね。

◎ 私たちの戦争体験談

サロンで語られた話のほか、寄稿や江南さんが聞き取った話も加えた34人の体験談を収録。A5版153ページ。図書館や桔梗が丘市民センターなどで読むことができます。

戦争に関する展示など

郷土資料館企画展

戦後80年 帰還兵が残したもの
—兵士が伝えなかったメッセージ—

期間 8月31日(日)まで

場所 郷土資料館

展示内容

- ・小松勝喜さんのシベリア抑留絵画
- ・千人針腹帯、軍服、従軍記、手紙など
- ・戦艦大和元乗務員 北川茂さんの話(ビデオ)

市役所ロビー 非核平和パネルなどの展示

期間 8月20日(木)まで

展示内容

- ・非核平和パネル
- ・小松勝喜さんのシベリア抑留体験記の話(ビデオ)
- ・広島市立基町高校生が描いた「原爆の絵」(8/18～)

市立図書館 すなお

「戦争と平和 戦後80年」関連本特集

期間 8月24日(日)まで